



さきやまぶ

秋は公民館講座が目白押し!!

2022年11月1日現在

世帯数	: 5,462戸
男	: 5,784人
女	: 6,095人
計	: 11,879人

『牛方にあえぎ声が聞こえる』

『第五回塩の道ウォーク・大網峠越え』

9月22日(木)塩の道ウォークが開催されました。最大の難所「大網峠越え」。急峻な坂道の連続。今回は新潟県からの逆ルート。白池の森原の館を出発し、ひたすら大網峠を目指しました。白池、角間池を過ぎ、百名山雨飾山を後ろに、ついに大網峠に着。ブナ林が続く大網峠は、幻想的で遠くに牛方にあえぎ声が聞こえるような静寂さです。

峠からは一気に大網集落まで下る。この急坂を逆から考えると、言葉が失う。溪流を渡る危険箇所を何とか突破。雨も降り出し、溪谷の横川の吊り橋を渡ると、本日の終着地大網集落に到着しました。



『牛伏寺階段工を眺め秋の鉢伏山を歩く』

秋の美ヶ原ウォーク開催

9月27日(火)に美ヶ原ウォークがあり、牛伏寺の駐車場を出発し、重要文化財の階段工を眺めながら、鉢伏山荘を目指しました。途中、地獄谷には難儀をし、ようやくの思いで登り切り、自動車道の交点に出ました。この辺りから既に秋の気配。スカイラインを歩く事時間、鉢伏山荘に到着しました。ガスの切れ間からのぞく景色にいやされ、昼食

を手に早く摂ると、扉温泉を目指し800mを一気に下りました。扉温泉迄カラマツの林を抜ける途中、熊の真新しい爪痕があり、緊張が走り、鈴を鳴らし、ようやくの思いで扉温泉に到着しました。



わが町紹介

●西小松町会●

日日は好日

薄川の堤防道路は多くの市民が四季を通して憩いの場所として親しまれていきます。春の並木、乗鞍岳を遠望に北アルプスが眼前に迫り、常念岳の陰から槍の穂先がちよつと顔を出している景色は最高です。

当公民館も種々の活動組織があります。今回は「長

秋の恒例バスハイク

10月7日(金)、秋の恒例バスハイクを行いました。今年度は、近隣ではありますが四賀化石館と松茸山荘へ向かいました。予定では四賀化石館を見学した後、松茸山荘までウォーキングをする内容でしたが、この日は生憎の雨。気温も低く、寒い中でしたが四賀化石館では、化石館館長の計らいでウロコの化石を参加者一人ずついただきました。



山城ウォーク

『石垣の要塞桐原城を歩く』

10月22日(土)に山城ウォークを開催しました。山辺谷には七つの山城があり、その中でも、石垣群が当時のままに残されている桐原城を歩きました。桐原氏が権威を示すために、縄張りや堀切りに様々な工夫が見られます。当時の桐原城の威容は遠くからも見え、難攻不落を敵方に印象付けたと思われませんが、戦わずして落ちた事が、何ともやり切れない、そんな戦国時代に思いを馳せた一日でもありました。



笑顔で応える」

付録「おばあちゃん 今日もいいぞ病院通い ここがわたしのオアシスよ」 征

西小松公民館長 中牧 征男



第65回 松本市市民スポーツ大会

◆『秋季大会』開催!

9日(日)に、市民スポーツ大会が行われました。

里山辺地区からは、ゲートボール男子・女子、ソフトバレーボール(39歳以下・40歳以上)、マレットゴルフが出場しました。

●結果:ゲートボール男子【3

- 位一 女子
- 【優勝】、ソフトバレー
- ボール共
- に【ベスト
- 8】、マレット
- トゴルフ
- 【20位



3年振りの開催!!

わいわいカレー事業大収穫祭



新型コロナウイルス感染症の影響により実施が中止となっていた、わいわいカレー事業の大収穫祭を9月24日(土)に里山辺公民館で開催しました。この大収穫祭では、春から参加者が育ててきた作物を調理ボランティアさんが調理をし、これまでの半年間を振り返りながらカレーを食すというものです。

振り返りでは、これまでの作業の様子や作物の成長を写真を見ながら行い、子ども達からは自分や家族が映った写真が出ると、「ぼくだ!! おとうさんも居るよ!」という声や、親御さんからは「この時大変だったよね」という声も聞かれました。

さて、半年間を振り返った後はお楽しみのカレーを食します。みんなで配膳を手伝い、挨拶をして食べ始めた子ども達の中には、30秒で食べ、早速おかわりに向かう姿がありました。その後もほとんど全員がおかわりをし、満足した様子でした。

最後にそれぞれ感想を言っ



ていた中で、「普段出来ない体験が出来てよかった」「最初は乗り気じゃなかった子どもも、回を重ねる毎に楽しみなながら参加できた」「作物を育てるのは大変なこと。ありがたみを感じながら、買い物をした」「など、参加してみないと感じられない体験が貴重だと話していました。

飯山街道が育んだ 小京都文化と雪の栄村

9月17日(土)に、町内公民館長会と里山辺公民館との合同研修会を、2年ぶりに開催しました。今年の研修は、『飯山街道が育んだ小京都文化と、日本有数の豪雪地帯栄村の自然と文化』と題して、飯山市と栄村、そして新潟県津南町を訪れました。

飯山市は寺の町と呼ばれ、仏壇工芸でも有名な町です。北陸新幹線の飯山駅に降り、飯山・栄村の観光・文化・民芸品の研修の後、忠恩寺を手始めに、称念寺、妙専寺、光蓮寺と巡り、雪国ならではの屋根の造りと庭の美しさに足を止めました。仏壇店が居並ぶ雁木通りの黄金色に輝く仏壇を眺め、次の研修地栄村を目指してバスは千曲川を北上しました。奥信

濃には、『里尺』という言葉があり、雪深いことを強調しています。千曲川沿いを縫う様に走り、JR最北端の『森宮野原駅』に到着すると、目の前に飛び込んで来たのは、『最高積雪7m85cm』の標柱。思わず上を見上げます。想像することすら難しい状況です。そこから県境に架かる宮野原橋を渡り、新潟県の津南町まで足を延ばしました。ここ津南町は秘境『秋山郷』の玄関口となっています。帰路県境の宮野原橋でバスを降り、橋を歩いて渡ってみることにしました。長野県側は千曲川、新潟県側は信濃川に名称が変わる境界の橋、減多

にできない貴重な体験でした。



第48回 里山辺地区文化祭開催

3年振りとなる地区文化祭を11月5日(土)・6日(日)に行いました。当初はステージ発表も行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により、松本圏域の病床使用率が大幅に上昇してしまい、残念ながら中止となりました。作品展と販売・バザーコーナーは行い、多くの地区住民の方が訪れました。

作品展には、山辺小・中学校の生徒を始め、里山辺保育園の園児



エクセラン高等学校の生徒さんからも出展いただきました。また、多くの地区住民の皆さんからも出展いただき、絵画や写真、書等まさに芸術の秋を感じさせていました。

また、販売・バザーコーナーでは各団体からも出店があり野菜や果物、卵やパン等を販売し、久しぶりの賑わいをみせていました。

さとのわファーム収穫祭

毎年恒例の、さとのわファーム収穫祭を10月29日(土)に行いました。参加者全員でさつま芋掘りに挑戦し、どんどん掘り進めていくと、大きなさつま芋がゴロゴロと沢山出てきました。作業の後は、お楽しみ焼き芋とおでんを食べ、疲れを癒しました。



第39回 松本市長杯争奪 球技大会結果

10月30日(日)に行われ、里山辺地区からは、ソフトバレーボール(A・Bの2チーム)、ゲートボール、マレットゴルフが出場しました。

●結果：ソフトバレーボール
里山辺A(優勝)里山辺B(3位)、ゲートボール
【予選敗退】マレットゴルフ

【8位】

